



現在妊娠中、授乳中、妊娠を計画中ですが  
新型コロナウイルスワクチンを接種することは  
できますか？



妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の方も  
新型コロナウイルスワクチンを接種することができます。  
mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンが妊娠、胎児、  
母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告は  
ありません。



日本産婦人科感染症学会と日本産科婦人科学会は、特に人口当たりの感染者が多い地域の方、感染リスクが高い医療従事者、保健介護従事者、重症化リスクの可能性のある肥満や糖尿病など基礎疾患を合併している方については、積極的に接種を考慮することとしています。

### <ワクチン接種について>

集団接種や産科のない診療所などで接種する場合、接種前後1週間以内の妊婦健診が勧められていますので、ご自分の妊婦健診スケジュールと接種時期をご調整ください。

なお、現在当院では患者さんに対する新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種は予定しておりません。あらかじめご了承ください。

妊娠中の接種について海外の実使用経験などから現時点で特段の懸念が認められているわけではないものの、安全性に関するデータが限られていることから、接種のメリットとデメリットをよく検討して接種を判断してください。詳細な見解やエビデンス、提言につきましては、下記参考資料のホームページをご確認ください。

また、妊娠を計画中の方については、接種後の長期避妊は必要ありませんが、可能ならば妊娠前に接種を受けるようにし、器官形成期である妊娠12週までは、偶発的な胎児異常の発生との識別に混乱を招く恐れがあるため、接種を避けていただくこととしています。授乳中の女性については、現時点で特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。

### <参考資料>

厚生労働省 新型コロナウイルスワクチン Q&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0027.html>

日本産婦人科感染症学会および日本産科婦人科学会の提言（令和3年1月27日）

[http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210127\\_COVID19.pdf](http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210127_COVID19.pdf)